

2018年 4月14日  
NPO法人 森を再生する会

## 水源の森を守ろう！ 取り戻そう！

### — 目 次 —

- ・大木がまた消える！！！！・・・1 P
- ・豊田市における水道水保全事業の  
取り組み状況・・・7 P
- ・あいち森と緑づくり環境活動  
学習推進事業実績報告・・・2 P
- ・平成27年度総会のお知らせ・・・8 P
- ・2015年納倉山作業記録・・・5 P
- ・寄付のお礼・・・・・・・・・・8 P

## 大木がまた消える！！！！

神谷 輝幸

安城市内では街路樹の剪定があまりにもひどく木を大切にしているとは思えません。そんな折、安城市文化協会副会長の稲垣英夫さんから別郷町にあるクロガネモチが伐採されそうだから一度見に来てほしい、何とか残す方法はないかという相談がありました。

そのクロガネモチは樹齢400年くらいで存在感があります。地主がその土地を売却し、障害者施設が建設されるとのことでした。

その後、安城市文化協会会長井上俊一さん、安城文化財保護委員長の天野暢保さん等会合を持ち安城の名木保存について協議しました。

話し合いを通して次の2点が大切だと感じました。

一つは、木には「いのち」が宿ることを市民が感じることです。日本は古来神道の国であり自然に命が宿っていることを肌で感じることのできる国民です。もう一度、木にはいのちが宿ることを知らせることが必要だと思います。

二つ目は、保護区を設けることです。安城の自然の置かれた状況は、人口が増え、開発が進むことにより、いのちある自然が破壊されていきます。少しでも自然を残したいなら安城市内で自然が残る地区を保護区として保全する条例を設定することが大切だと思います。

# あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業 実績報告

写 真	内 容
	<p>行事名：原生林自然観察会</p> <p>日時：平成27年5月24日 8：30-16：30</p> <p>場所：愛知県北設楽郡設楽町 津具高笹3-67</p> <p>参加者数：26名</p>
	<p>行事名：巻がらし間伐</p> <p>日時：平成27年6月28日 8：00-17：00</p> <p>場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山</p> <p>参加者数：10名</p>
	<p>行事名：巻がらし間伐&amp;調査</p> <p>日時：平成27年7月26日 8：00-17：00</p> <p>場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山</p> <p>参加者数：11名</p>
	<p>行事名：巻がらし間伐&amp;調査</p> <p>日時：平成27年8月2日 13：30-15：30</p> <p>場所：安城市民会館</p> <p>参加者数：35名</p>
	<p>行事名：間伐</p> <p>日時：平成27年9月6日 8：30-17：00</p> <p>場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山</p> <p>参加者数：8名</p>
	<p>行事名：間伐&amp;搬出</p> <p>日時：平成27年9月20日 8：30-17：00</p> <p>場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山</p> <p>参加者数：7名</p>



写 真	内 容
	<p>行事名：間伐&amp;搬出          日時：平成27年9月27日          8：30-17：00          場所：愛知県北設楽郡設楽町          下山          参加者数：9名</p>
	<p>行事名：間伐&amp;植樹準備          日時：平成27年10月4日          8：30-17：00          場所：愛知県北設楽郡設楽町          下山          参加者数：8名</p>
	<p>行事名：面ノ木写真展          日時：平成27年10月1日          ～11月30日          場所：秋葉いこいの広場 環          境学習センター（エコきち）          参加者数：42名</p>
	<p>行事名：植樹&amp;水源の森づく          り講座          日時：平成27年10月11日          8：30-16：30          場所：          午前＝愛知県北設楽郡設          楽町下山          午後＝道の駅なぐらアグ          リステーション          参加者数：30名</p>
	<p>行事名：間伐&amp;間伐指導          日時：平成27年10月25日          8：00-17：00          場所：北設楽郡設楽町下山          参加者数：9名</p>
	<p>行事名：間伐&amp;ネット設置          日時：平成27年11月22日          8：00-17：00          場所：愛知県北設楽郡設楽町          下山          参加者数：14名</p>

## アンケート結果

回答者	性別			計	
		男性	女性		
	子供	15	12		27
	大人	95	83		178
計	110	95	205		

  

	項目	人数 (割合)	理由
Q1. この取組に参加する前に比べ、森と緑の重要性について理解が深まりましたか？	①大変深まった	200人 (97.5%)	水源の森は、広葉樹のほうが保水能力は高いことがわかった。
	②少し深まった	5 (2.5%)	初めての参加だったので、すこしわかったような気がする。
	③あまり深まらなかった	0	
Q2. 今後とも、こうした取組に参加したいですか？	①参加したい	205人 (100%)	大変勉強になるから。森林についてもっと知りたいから。
	②参加したくない	0	
Q3. その他、自由にご意見やご感想をお聞かせ下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアで知る程度の知識であったが、体験して初めてわかることに感動した。</li> <li>・木村志郎先生の森づくりの話はとても深い話でよく分かった。</li> <li>・木造建築の家が日本の森を守ることがよく分かった。</li> <li>・国策として森づくりにもっと資金を投入することが必要だと感じた。</li> </ul>		

## 事業実施による効果

- 水源の森の姿をイメージとして体験的に理解してもらうために、昨年引き続き、面ノ木峠原生林で自然観察会を行った。講師の加藤俊博さんの説明に参加者は大変満足した。
- 原生林写真展を開催したが、原生林の姿をよく捕らえた写真が多く、安城市環境学習センターに常設展示して市民にPRできた。
- 間伐のプロを指導者として迎え、作業が安全かつ効率的に進み、間伐が順調に進んだ。
- 調査の結果、巻枯し間伐の効果が顕著であることが確認できた。

## 2015年 納倉山作業記録 ダイジェスト

記録 長澤 勇吉

### 6月28日

今回は仕事始めになりました。

実は4月26日は、エコネットあんじょう自然部会主催の“新春の森自然観察会～富岡村五葉瑚周辺散策”に参加。

さらに5月24日は、森を再生する会主催の春の行事“面の木原生林の散策”に参加のため、作業は中止。

歴博駐車場で新参加者の石原さんと野村さんの2名が紹介される。

半年ぶりの納倉の山、ふもとからの登り口にホウの木の葉が青々としている。

巻き枯らしの作業も順調に進行し初参加の人も楽しそう。

作業終了後、年秋の植樹の苗木の成長を確認した結果、完全ではありませんがネットの効果で保護され育っていた。樹種によって差が出る間伐したところに陽が差して下草が伸びてきている。自然界の営みは素晴らしい。

### 7月26

今回女性2名（鈴木さん、橋本さん）が初参加。山作業の活動に共鳴しての参加。

今回はエスペックミックの吉野さんも参加し調査班が編成され、調査エリアの照度・保存林の成長・試験的に植えたミズナラの発育状況等を調査した。

他のグループは10月の植樹祭の会場造りのための巻き枯らし作業を実施。午後は昨年切った丸太を「積み木」用材料として提供するとので2～3人がかかりで4本運び出す。

### 9月20日

8月9月は行事や天候の関係で結局20日に実施。名古屋市港区から初参加の西川さんは、岐阜の御嵩で山作業を実施しているが、月一回の活動では物足りなく、我々の活動に賛同しこちらにも参加してくれる活動的な若者。

今日の作業はやや太めの木の間伐作業。午前3本午後2本を倒して枝を払って1.8メートルに刻んで、積み重ね作業を実施。前回に引き続き今回も積み木用丸太を4人がかりで2本運び出す。

### 9月27日

植樹祭が翌月なので少し焦り気味、今回もエスペックミックの吉野さんも参加して、調査班が編成され調査を実施。そして残りのグループは、山作業講師の杉野さんの指導の下、勉強会と実技を実施。杉野班は御清めの神事をしてから作業を開始。今までロープを長めにセットしていたが、効率よく作業をするために、近場にロープを固定して、倒す木にベルトを巻きつけ、離れた木に滑車を取り付け、安全な所にロープを引っ張るプラロックを設置。

その後チェーンソーをいれて、くさびを打ち込んで、切り倒す。倒す方向が確実になりロープを張る時間が短縮できるので、効率良く作業でき、かなり太い木も確実に切り倒された。昼食後も難易度の高い木に取り組んだ。太い木は自重があり難しい。若い西川さんが杉野さんの技術を習得しようとして精力的に活躍されていた。

## 10月4日

10月1日も追加で計画されたが雨で中止。植樹祭一週間前であるため設営準備。前回切り倒した木の枝木と丸太を切って、脇に寄せる力仕事に精を出した結果かなり広く植樹場所が確保された。

エピソードを一つ。

昼食後午後の作業に入る前に女性陣3名が、細い立ち枯れ状態の木を倒したいと言うチャレンジ精神に火が点いた。のこぎりに初めてさわった人もいたが、か弱き女性3人が交代でのこぎりを使用し、切り倒す。木こり経験の充実感、達成感で満足な顔をしていたのがおもしろい。

作業終了少し前太い丸太の年輪を数え始めた人がおり、70～80年であることが分かった。

## 10月11日

植樹祭の日、総員30名参加。100本の苗木を植樹。道の駅アグリステーション名倉での昼食後、エスペックミックの吉野さんが、平成23年から4年間の山の調査場所の推移をデータに基づいての講演。

神谷理事長より、根羽村の山を購入する準備と海の資源を守る為、上流の森の手入れがいかに大事かの話がされ植樹祭が無事終了。

吉野知明さんの巻き枯らし講座の概要は以下の通り。

- 巻きがらし→確実に枯れることはわかった。
- 光環境の改善（照度調査）→光環境は改善した。ただし、時間の経過とともに、徐々にまた暗くなる印象。
- 毎木調査→残存木は健全に育つ、肥大成長はしている。間伐した方がよい。
- 植生調査→下層植生が育つ、実生はたくさん出てきている。
- 植栽したミズナラ→葉が食べられている。
- 巻き枯らし間伐→光環境の改善→実生の侵入までは見えてきた。
- 食害→植えた結果、普通の広葉樹は食害を受ける。  
このままでは不嗜好性のものしか残らない。シロモジ、タムシバなど不嗜好性植物の天然更新を行ないつつも、一部は食害を抑えるための保護（ネット設置）や植栽をしていくのが良い。
- この5年間御成果
  1. 巻きがらし間伐の簡便な手法の採用
  2. 巻きがらし間伐の確実な枯死を確認

3. 照度の改善を確認
4. 保存木の肥大成長を確認
5. 実生の定着や下層植生の成長を確認
6. 食害により植栽木は衰退  
→階層構造は発達できない。  
→土壌形成もあまり期待できない。

○ 今後の展望

1. 下層植生の充実を図りたい
  - ・天然更新実生の活着把握
  - ・草本植物種の生育実態把握
  - ・草食獣の忌避樹種の植栽
  - ・主要樹種の食害からの  
有効な保護策の検討
2. 線香林の巻きがらし間伐推進  
放置されている場所を改善

**10月26日**

植樹祭が無事終了しましたが、納倉の山の手入れは、まだまだ続く。「みんな山が好きなのですね!」、若い西川さんが活躍しておりますが、今回またまた、西川さんの友人が参加し若い人が増えました。二人してふもとから入り口までの林道の両脇を草刈作業。残りは杉野さんの講習会を受講。

前回に引き続き、意欲的に作業実施。午後も少し早めに作業開始。このやる気は、どこから、講師の杉野さんが、要領よく作業を進められるので前のめりになる。山の夕暮れは早いので早めに退出したが、香嵐溪の渋滞に引っかかり遅くなる。

**11月22日**

今年の仕事納め。一時間早く集合して現地入り。参加者8名。名倉の山で少し渋滞に巻き込まれた、杉野さんと合流。同じく渋滞に引っかかった、西川さんが友人の高校生と中学生の子どもさん2名を連れて到着。西川さんと一緒に先月の作業の続きを実施。その後、間伐作業に合流。大渋滞に巻き込まれた、エスベックミック吉野さんと山本さんが、食事終了間際、到着。植樹した苗木の保護作業を開始。杉野班も間伐にとりかかるが、ここで杉野さんより実技試験をしたいとの提案があり、みなに推薦された野村さんが受検。冷や汗をたっぷりかいたが見事合格。

15:00前全ての作業終了し退出。今年の作業は終了。また来年再会を楽しみにしたい。



## 豊田市における水道水源保全事業の取り組み状況

水道水の原水の70%以上を矢作川から得ている豊田市にとって、水源の森の荒廃は、なんとしても食い止めなければならない市民全体の問題。『豊田市水道水源保全基金』は、そのような水源地域の森林を保全するために平成6年に創設された。

豊田市民が支払う水道料金の『1 m<sup>3</sup> (1トン) あたり1円』を上流の森林保全に役立てるというこの基金は、財源を市民が負担することで『生活に欠かすことのできない水の循環や環境保全の重要性』を考える契機になるなど、水源の森を守る仕組みの先駆的な事例として全国的に注目されている。

平成19年度からは、矢作川上流域の森林を保全し水量確保を目的とする「水源の森事業」と水源の水質保全を目的とした「水質保全対策事業」の2つの事業を展開している。

そしてH27年には豊田市における水道水源保全事業のリニューアルが図られ展開中

### 1、政策のポイントと構成

- ・使用目的が明確な基金。「水資源確保（水量+水質）」に直接的に結びつく施策に限定。
- ・市民への種極的なPRが必要。
- ・事業を相互にリンクさせパッケージとして施策化する。
- ・上下水道局と森林課が連携して取り組む。
- ・森づくり基本計画に位置付けて取り組む。
- ・事業は平成27年から開始。

### 2、新規施策

#### ①水道水源林間伐事業

目的；市内の集水域エリア内（山間地域、市内森林の約1/3）において基金を活用して間伐を実施し、健全な人工林に誘導することにより、水資源の確保（水量+水質）に取り組む。

事業内容；切置き間伐 100ha/年

財源；水道水源保全基金

#### ②水道水源林確保事業

目的；矢作ダム周辺左岸を特に重要なエリアとして指定し、豊田市の水がめの矢作ダムを守るため、水源林として購入する。購入後は①の事業で強度間伐等を実施し、針広混交林化を図り、水源かん養機能の高い森に誘導する。

事業内容；指定エリアの約300haを購入対象として順次交渉する。  
概算事業費；6,000万円/年

財源；水道水源保全基金

### 3、継続事業



①水質保全対策事業

事業内容； 山間地域において合併浄化槽を設置する際に上乘せ補助  
概算事業費；300万円/年 財源；水道水源保全基金

②水源の森事業

事業内容；「水道水源の森」を整備し、森林の持つ水源涵養機能を保  
全する。

財源； 水道水源保全基金

## 【平成28年度総会のお知らせ】

期日：平成28年4月28日(土) 14時から

場所：安城市民交流センター

議題：①平成27年度事業報告について

②平成27年度決算報告について

③平成28年度事業計画について

④平成28年度予算について

### ☆本年度 NPO森を再生する会へ寄付をいただいた方々☆

(寄付受付日付順)

神谷 守様 3,000円

神谷俊治様 10,000円

遠山松枝様 20,000円

過分なるご寄付をいただきまして誠にありがとうございます。  
ます。

これもひとえに会の活動をご理解いただいていることと、  
身にあまる光栄に存じます。今後水源の森作りに役立たせ  
ていきたいと思っています。